

第1 調査結果の特徴等

1 県の平均変動率は、全ての用途において4年連続で上昇し、住宅地及び商業地の上昇幅は拡大した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地は2.3%の上昇（昨年2.1%）、商業地は3.6%の上昇（昨年3.4%）となり、それぞれ上昇幅は拡大した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では上昇地点数が75.2%（昨年73.2%）を占め、横ばい地点数が13.5%（昨年12.3%）、下落地点数が11.1%（昨年14.6%）となった。
また、商業地では上昇地点数が83.7%（昨年84.3%）を占め、横ばい地点数が11.1%（昨年8.2%）、下落地点数が5.2%（昨年7.5%）となった。

2 住宅地、商業地ともに、全ての地域で上昇した。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では名古屋市で4.3%（昨年3.9%）、尾張地域で2.1%（昨年1.4%）、知多地域で1.9%（昨年2.3%）、西三河地域で2.6%（昨年2.9%）、東三河地域で0.1%（昨年0.0%）と全ての地域で上昇を示した。
また、商業地でも名古屋市で5.8%（昨年5.3%）、尾張地域で2.3%（昨年1.7%）、知多地域で1.4%（昨年1.5%）、西三河地域で3.8%（昨年4.2%）、東三河地域で0.8%（昨年1.0%）と全ての地域で上昇を示した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では42市町（昨年40市町）で上昇を示し、商業地では40市町村（昨年40市町村）で上昇を示した。
一方、住宅地において、南知多町、美浜町など10市町村（昨年14市町村）が下落を示し、商業地でも南知多町、美浜町など8市町（昨年8市町）が下落を示した。
- (3) 名古屋市各区分別の平均変動率をみると、住宅地及び商業地において、全ての区で上昇を示した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では「千種（県）-7（橋本町2丁目）」（16.9%）、商業地では「千種（県）5-5（末盛通5丁目）」（17.4%）であった。

一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では「南知多（県）-1（大井）」（ Δ 4.4%）、商業地では「南知多（県）5-2（師崎）」（ Δ 5.2%）であった。

- (1) 住宅地では変動率上位5地点は名古屋市、大府市、一宮市及び長久手市の地点が占めた。
また、商業地では変動率上位5地点は名古屋市の地点が占め、そのうち、4地点を千種区の地点が、1地点を中村区の地点が占めた。
- (2) 住宅地では変動率下位5地点は南知多町及び西尾市の地点が占めた。
また、商業地の変動率下位5地点は南知多町、美浜町及び西尾市の地点が占めた。